対人関係心理学 II

科目ナンバリング SOP-103
選択 2単位

敷島 千鶴

1. 授業の概要(ねらい)

対人関係の諸相を態度、集団力学、集団意思決定という概念からアプローチします。古典的社会心理学及び認知心理学の理論を紹介し、人は集団の中でどのような行動を取るのか、対人関係をマイクロ・マクロの関係から学びます。

授業を通して、以下の問いに説明ができるようになります。

- 人を説得するってどういうこと？
- どうしてデモに参加するの？
- どうして独裁者のいうことを聞くの？
- 多数決を取るって、本当に民主的？
- ひとり考えるより、大勢で考える方が結論は正しいの？
- 革新はどういうときに起きるの？
- どうして差別するの？
- どうして王様は裸なの？

2. 授業の到達目標

当該領域の代表的な研究を理解することにより、対人行動に関する洞察を深めることができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末試験(80%)、課題レポート(20%)によって評価を行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は指定しません。資料プリントをLMSにアップロードします。

参考文献

亀田達也・村田光二著 『複雑に挑む 社会心理学 適応エージェントとしての人間』 有斐閣アルマをお薦めします。

5. 準備学修の内容

指定した論文を読み、わからない箇所は自分で調べてから授業に臨むことを求めます。論文の読み方については授業内で説明します。

6. その他履修上の注意事項

心理学の初学者でも理解できるよう初歩的な内容を扱います。人数制限をすることがありますので、履修希望者は初回の授業に必ず出席してください。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス
【第2回】	態度について学ぶ
【第3回】	態度変容について学ぶ
【第4回】	多数派の影響について学ぶ
【第5回】	権威への服従について学ぶ①
【第6回】	権威への服従について学ぶ②
【第7回】	権威への服従について学ぶ③
【第8回】	少数派の影響について学ぶ
【第9回】	集団意思決定について学ぶ①
【第10回】	集団意思決定について学ぶ②
【第11回】	集団意思決定について学ぶ③
【第12回】	リーダーシップについて学ぶ
【第13回】	偏見について学ぶ
【第14回】	学期末試験
【第15回】	まとめ